

平成27年度 第6回

端野まちづくり協議会開催結果について

- 日 時 平成27年10月29日（木）
午後7時00分～午後9時15分
 - 会 場 北見市端野総合支所 1階 会議室1・2
 - 出席者 ○協議会委員（計15名）
 - 岡村廉明会長 山内幹司副会長
 - 今村幸雄委員 小田大典委員 斉藤千尋委員
 - 柴田登与志委員 永沢章治委員 沼崎栄治委員
 - 細川純子委員 保里隆道委員 松崎常雄委員
 - 水口 馨委員 村本慧乃委員 森谷幸弘委員 渡辺まゆみ委員
 - 北見市
 - 藤田自治区長 田辺教育事務所長 福島建設課長
 - 三好生涯学習課長
 - 事務局
 - 似内総合支所長 上銘総務課長 伊藤地域振興係長
 - 傍聴者 4人
-
- 次 第
 - 1.はじめに
 - 2.議 題
 - (1) 端野自治区内事業の今後のあり方について
(建設課、教育事務所、総務課追加関係の事業)
 - 3.その他

意見交換・質疑の主な内容

1. はじめに	
事務局	ただいまから第6回端野まちづくり協議会を開催いたします。 はじめに、岡村会長からご挨拶いただきます。
岡村会長	・・・岡村会長挨拶・・・
事務局	続いて、藤田自治区長から行政報告をいたします。
藤田自治区長	--- 藤田自治区長より行政報告 ---
事務局	これからの会議の進行につきましては、会長にお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。
岡村会長	それでは、会議に入ります前に、会議の成立について事務局から報告がございます。事務局報告願います。
事務局	本日の出席委員数は、委員15名全員の出席をいただいております。 北見市自治区設置条例第7条第3項の規程に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。
岡村会長	それでは、議題に入ります前に、建設課より10月上旬の暴風雨による被害状況について説明がありますので、建設課から説明願います。
福島建設課長	・・・福島建設課長説明 資料4・・・
岡村会長	ただいま、説明いただきましたことについて、ご質問ご意見等ございませんか。
山内副会長	10月上旬の暴風雨に伴う被害報告を受けたが、公式な風速や降水量はアメダスであるが、端野自治区はJAきたみらいの観測数値とのことだが、端野で降って北見で降っていないなど局地的な豪雨もあることから、災害認定等を受ける場合にJAきたみらいの観測数値で対応可能なのか。
似内総合支所長	災害関係について総合振興局では、このJAきたみらいが使用している気象情報モニタリングシステムが気象庁の示す基準を満たす検定を受けていれば対象となるとのことであるが、JAきたみらい端野支所に確認したところ、各農家への情報周知のために設置しており、検定には一定の費用もかかることから検定を受けていないということであり、基本的には対象とならないと考えております。

山内副会長	最近、局地的な豪雨が多いので、端野だけが豪雨になった場合、災害認定が受けられないということにならないような対応をしていただきたいと思います。
岡村会長	他の方々はいかがですか。
今村委員	今回、被害の中でハウスなどは農家個々で共済により手立てしているが、法面や取り付け道路など行政と関わりのあるものなどは、災害が大きくなる可能性の心配があるなら、データとして根拠となる公式な数値の確立が必要だと思う。
似内総合支所長	気象庁のアメダスが端野自治区に設置されれば一番良いが、JAきたみらいが別途設置されていることからみても、気象庁のアメダスの設置は困難だったのではないかと推測されます。市としては気象庁に要望してみなければ設置が可能なのかわかりませんが、JAのデータを活用させていただけるのであれば市としてどういうことが出来るのか考えていかなければならない。協議会としても必要だとの総意になれば、答申へ付記していくことも一つの方法だと思います。
水口委員	合併する前は端野町として一つのまちとして表示されていたが、合併後は端野表示が少なくなった。常呂と留辺蘂は距離の関係から表示されることが多いが端野は北見とひとくくりになっている。最近局地的な暴風雨が起きているから、きちんと各自治区で計測できるようにしてほしい。
小田委員	資料の3ページを見ても、端野だけがJAのモニタリングシステムでありこれが災害認定で認められないということでは不自然であり、差別されているような気がする。北見と近いからと言っても近年の気象状況は局地的な災害が多いので早めに解消すべきである。
藤田自治区長	管内の市町村においても、アメダスが設置されていない町はかなりある。気象庁の設置基準もあるし考え方もあると思う。答申の中で気象庁へ要望することと合わせて、アメダスの設置が無理ならばJAモニタリングシステムについて市とJAで協議させていただき、どのようにしたら検定を受けられるのか協議を進めるというのも一つの方法ではないか。皆さんの総意で決めていければ良いと思う。
岡村会長	その旨を答申書に盛り込んで意見を述べていくことにしたいと思います。端野の農家の方々が不利益を被らないようにしていきたいと思う。 他にご意見ありませんか。
森谷委員	暴風雨の関係ではありませんが、先週の降雪について端野、常呂でもかなり雪が降り、その除雪体制については北海道では道道も11月1日からの除雪契約であり、北見市でも11月以降の契約だと思うが10月での除雪や凍結防

岡村会長	<p>止剤散布などもあるため、今後毎年早めの契約などに努めてほしい。意見です。</p> <p>他になれば暴風雨関係は以上で終わります。</p>
2. 議題	
岡村会長	<p>それでは、次第2、議題の「端野自治区内事業の今後のあり方」について、協議していきたいと思います。</p> <p>本日は、建設課、教育事務所が所管します今後の事業について協議していきたいと思います。さらに、総務課の追加分事業がありましたので、本日資料を配布させていただきました。後程協議していきたいと思います。</p> <p>各課の事業説明の前に事務局から説明がありますので、事務局説明願います。</p>
事務局	<p>各課事業説明の前に、事務局からスケジュール等を改めてご説明させていただきます。前回もご説明させていただきましたが、第4回まちづくり協議会で、自治区長から「諮問」を受けました「端野自治区内事業の今後のあり方について」の答申に向けまして、前回、総務課、市民環境課、産業課の各課から具体的な事業の説明を受け、本日、建設課、教育事務所からの事業説明となります、本日ですべての課の事業説明が終わりますので、次回のまちづくり協議会で答申案を協議していただき、11月中旬の答申に向けて、少しハードな日程にはなりますが協議していただくこととなります。</p> <p>また、各課の事業につきましては、現段階での事業案でありますので、今後、事業費の変更や事業自体他の事業と統合・取り下げなど出てくる場合もございますので、あくまでも現時点での事業案ということでご理解願います。</p> <p>最終的に、事業の変更があった場合には、今後の答申案協議のなかで随時説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
岡村会長	<p>ただいま、説明をいただきましたことについて、ご質問、ご意見はございませんか。なければ、最初に建設課が所管する事業について、担当課から説明していただきます。それでは建設課から説明をお願いします。</p>
福島建設課長	<p>・・・福島建設課長より事業説明 資料1・2 ・・・</p>
岡村会長	<p>ただいま、説明をいただきました建設課の事業について、ご質問、ご意見はございませんか。</p>
保里委員	<p>先日のイベントで看板設置をするため244号線広域農道を歩きましたが、非常にわだちがひどい状況でした。産業課の農業サイドの事業と調整しながらという説明でしたが、早急にオーバーレイを実施したほうが良いと思う。</p>
福島建設課長	<p>農業サイドの事業については舗装面の調査が今年度終わっており診断結果</p>

	<p>が今年度でするので、その結果により北海道が行う区間が分かります。</p> <p>その整備区間を聞いたうえで、残された区間で再舗装が必要な部分を市で整備したいと考えております。広域農道は交通量も多いことから、事業実施にあたっては片側通行や通行止め等の観点からも道事業と歩調を合わせながら行いたいと考えております。</p>
松崎委員	<p>春先に自治会を通じ整備要望を出しているが、毎年同じ要望を出しても改修されない現状である。実施計画要望事業に様々な道路や河川補修事業が出されているが、自治会要望の部分が見えない。早期に対応すれば小規模工事で経費をそんなにかけずに済むので早期に対応してほしい。</p>
福島建設課長	<p>自治会からの要望箇所やその都度要望のある箇所などお聞きし、ある程度集約しながらその都度現場を確認し、緊急度の高い箇所から行っているが追いついていない部分もあります。また破損箇所を復元するだけでよい箇所と、改良が必要な箇所などもあり、調査設計など時間をかけているものもあるのでご理解願います。</p>
水口委員	<p>旧端野町時代から災害危険箇所などは引き継いできていると思う。その中で新たに土砂災害危険区域指定を受けた旧緋牛内小学校裏などを含め、国に要望する箇所、道に要望する箇所、市で行うものが分けられていると思う。災害が多くなってきている近年、やはり小さい補修箇所を早めに改修しておけば大災害にならないことが多いと思うので、しっかりやってほしい。</p>
福島建設課長	<p>旧町時代から危険箇所や地域要望は引き継いできている。対応できるものは対応し、難しいところは監視しているところもある。抜本的に改修するのは優先順位をつけながら行っており、時間がかかっているものもあります。</p> <p>旧緋牛内小学校の裏の土砂災害危険区域については北海道が指定していますので道の調査等を確認しながら対応していきたい。</p>
山内副会長	<p>河川関係であるが、先日の暴風雨で雨量が85mmぐらいであったが、あれで自宅の裏の川が満杯状態であった。近年、全国的に異常気象で本州では200mmの降雨や堤防の決壊もあり、北海道も例外ではなくなってきた。河川の管理を考えたとき、やはり河川内に溜まっている土砂の問題があると思う。できることは農地水保全組織や地域で行えということだが、それ以上のレベルの土砂もあるので河川の状況を把握、管理し、ここの場所はひどいので保全組織なのか行政で行うレベルなのかを十分調査して、マップに落とし整備しておけば未然に災害を防ぐことが出来ると思うので、その努力をお願いしたい。</p>
今村委員	<p>私も同感である。また、最近農道を通ると木の枝が道路に出て大型機械が通れない場合もある。河川に倒れこんできている大木も、我々の保全組織で草刈りもするが手におえない。この河川内の倒木が悪さをして、水流を止め護岸を越水し痛めていくように思う。河川内の倒木や道路への枝の張り出し</p>

	<p>などよくパトロールしていただき出来るものは早急に対応していただきたい。</p>
柴田委員	<p>132号線の歩道整備は通学路でもあり、最優先で実施してほしい。</p>
細川委員	<p>132号線は現在でも中学生が多く通っている。児童館からの通り道でもあり、夕方の暗い時間にも多くの子どもが通っているのが危険に感じる。早急に歩道整備を実施してほしい。小学校が移転完成し1月から小学生が多く通ると思うが、事業計画では平成29年度が設計で、30年度が改良舗装工事となっており、遅いと思う。中学校移転改築時も歩道整備が出来ておらず中学生の交通事故が起きた経過があるので、片側だけでももっと早く歩道整備ができないのか。</p>
田辺教育事務所長	<p>小学校移転後の通学路の関係ですが、児童館に行く場合、今年度整備予定の歩行者専用道が学校前から虹野分譲地へ通じる予定であり、そこを通り農協前の信号を渡り児童館に行く道順をメインに考えている。歩道が未整備の道路はなるべく通らないよう学校と調整し指導していきたい。</p> <p>ご意見を踏まえ、中学生についても小学校移転後は小学生同様な指導を学校と協議しながら行っていきたい。</p>
福島建設課長	<p>整備計画ですが、現在、12号線13号線の歩道整備を行っており、来年度も親交団地建替えに伴う歩道整備も予定しており、幹線系の歩道整備を優先して行っているため132号線が3年後の平成30年度の完成予定となりますが、できるだけ年度の早い時期に整備できるよう努めたい。</p>
森谷委員	<p>学校完成に向けて資料にある歩道整備が優先度の高い事業ということであり、子どもたちの安全のためにしっかりと要望し進めていただきたい。現在、12号線13号線の歩道改良しているところであるが、13号線の国道から旧国道の直線化は以前にも議論し要望した経過があるが、JRの踏切の問題などあって、今回も事業が見えない。間もなく小学校が完成し子どもたちが通学するのにどうなっているのか。以前、簡易な歩道を作るという話もあったが、進捗状況はどうなっているのか。どれぐらいの年度にどのように整備するのか教えていただきたい。</p>
福島建設課長	<p>13号線の国道から南側、旧国道までの間ですが、以前から直線化の事業に向けてまちづくり協議会にもお諮りしながら検討してきましたが、JR踏切のポイント位置の問題などもあり、直線化は非常に困難であるとお話しさせていただいたところである。今回の道路事業の中には入っていないが道路維持業務の中で安全対策ができないか検討させていただき、踏切内は無理であるが、歩行空間と車道を仕切ることができないか今年度絵を書き、冬場は除雪の関係上実施は無理なので、来年度春から試験的に行いたい。</p>
森谷委員	<p>簡易的な歩道空間を来年度から作るということだが、1月から小学生が通</p>

	<p>学し、冬場の除雪で道幅も狭くなり交通量も多いので、歩行者の安全対策を早急に行ってほしい。</p>
岡村会長	<p>他にご意見ご質問ございませんか。 なければ、建設課が所管する事業については、以上で終わります。</p>
教育事務所	<p>次に、教育事務所が所管する事業について説明させていただきます。 それでは、教育事務所から説明をお願いします。</p>
教育事務所	<p>・・・田辺教育事務所長、三好生涯学習課長より説明 資料1・2・・・</p>
岡村会長	<p>ただいま、説明をいただきましたことについて、ご質問、ご意見はございませんか。</p>
小田委員	<p>今回図書館改築事業が記載されていないが、今年度北見の中央図書館が改築され、都市再生の関係で教育委員会も端野総合支所の2階に当分の間いることになったこともあり、端野図書館の改築の条件が整った。老朽化、狭隘化している端野図書館の建設を早急を実施する必要がある。また併設している資料館についても北網圏文化センターが手狭で資料の保存等にも苦慮している話も聞くので、常呂川流域が屯田兵の入植地でもあることから、全市的な資料の保存も含め端野に集約した資料館を併設建設してはどうか。北網圏文化センターは科学館や美術館として棲み分けも必要ではないか。 また、公民館文化鑑賞事業は今年度もチケットが完売で住民が楽しみにしており今後も続けていただきたい。</p>
三好生涯学習課長	<p>図書館改築事業については総合計画にも掲載されており、これまで北見の中央図書館や端野総合支所庁舎の活用方法などの課題がありましたが、これらの条件が整理されましたので、早急に内部で検討し、まちづくり協議会にもお諮りしながら進めてまいりたい。 また公民館文化鑑賞事業はこれまで多くの方々に鑑賞していただき好評であることから、今後も継続的に事業を推進していきたいと考えている。</p>
細川委員	<p>図書館と連携した屯田の杜公園は非常に良い環境の施設だと感じている。ウォーターパークに来る人たちは、木陰でお弁当を食べたり、水遊びしたあと木陰で休んだり、帰りに図書館によって本を借りて帰ってくる非常に良い施設、環境である。 北見の香りゃんせ公園には木がない、木陰がない。屯田の杜公園は水があって、木があって、杜があって、遊具があって、図書館があって本を読むという良い施設環境である。図書館の裏にはクルミの木があり、神社にはどんぐりの木があり、季節を感じられる良い環境であり、ぜひ良い方向に保存してほしい。残念なのはアスレチック公園が木製遊具だったので腐敗し撤去されそのままであり大変さびしいことだ。子どもたちの遠足にも使われていたのに残念。神社側の遊具も老朽化しており更新を望む。子育てをするのにとて</p>

	<p>も良い環境であり、さらに良い方向にしていきたい。</p>
小 田 委 員	<p>同感である。子どもたちのためにも、この屯田の杜がより良い施設環境となるよう望む。</p>
村 本 委 員	<p>屯田の杜公園の樹木管理事業ではどの程度切る予定なのか。こもれば道路などは並木道で景観もよく、ウォーキングの方々も多いので、景観を損ねないようにあまり切らないでほしい。</p>
田辺教育事務 所 長	<p>樹木の成長により隣接する畑が日影になり農作物への育成にも影響がある可能性があるため、2本に1本程度の間伐を予定している。景観には配慮しながら進めたい。</p>
水 口 委 員	<p>畑が日影になるというのであれば、枝払いや上部を切ることで解消できるので景観に配慮願いたい。</p>
柴 田 委 員	<p>トレセンのボイラーは老朽化しており、壊れてトレセンが使用できなくなる前にぜひ更新していただきたい。</p> <p>また、旧中学校の解体は、小学校と一緒にという話もあったがどうなのか。学校跡地の利用計画はあるのか。</p>
田辺教育事務 所 長	<p>今回小学校の解体は小学校のみの解体である。中学校の解体は今後、跡地利用や財源なども含めながら検討していきたい。現時点での跡地利用は決まっていない。</p>
斉 藤 委 員	<p>旧中学校のグラウンドは荒廃し、雑木まで生えてきている。卒業生として見るに堪えない光景であり、環境美化に努めてほしい。</p>
柴 田 委 員	<p>学校跡地にも絡むかもしれないが、中央橋の老朽化が激しく、架け替えの予定はないのか。</p>
福島建設課長	<p>今年度一部補修を行う予定ですが、今後高規格道路のインターチェンジの関係や道道昇格の関係なども考慮しながら検討している状況です。</p>
水 口 委 員	<p>北見の教育行政の考え方が見えてこない。合併してから人づくりがなされていない。北見は教育に対する考え方が違うのか、人づくりには力を入れている。旧端野時代は教育に力を入れ人づくりを行ってきた。行政からの仕掛けが無さすぎる。仕掛けをどうするか真剣に考えてほしい。</p>
渡 辺 委 員	<p>今年の冬は大雪が多く、スクールバスが遅れることや急な下校で何時にバスが来るのかなど父母は困惑したので、スクールバスと父母との連携が必要だと感じたので検討してほしい。</p> <p>また、児童館プログラムでプール事業ができるようにしてほしい。現在児</p>

	<p>児童館に通う子はプールに行けない状況である。トレセンのプール教室とタイアップして児童館に通う人たちもできるようにしていただきたい。</p> <p>これまで同様、児童館までのスクールバスは運行するのか。</p>
田辺教育事務所 長	<p>降雪によるスクールバスの運行については、今年度大雪が多く除雪の関係もありバスが遅れる状況など課題があったので、連絡体制、連携等について検討したい。</p>
	<p>児童館利用の子どもたちのプール利用についても児童館や社会教育とも連携しながら検討したい。</p>
	<p>児童館へのスクールバスは、学校が移転し距離が近くなるので運行しない予定である。父母にも説明済みであり、国道横断などの心配も聞いているが、学校とも連携しながら交通安全指導など行っていきたい。</p>
岡村会長	<p>他に、ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>なければ、教育事務所が所管する事業については以上で終わります。</p>
	<p>次に、総務課で追加事業がありましたので説明していただきます。総務課から説明願います。</p>
上銘総務課長	<p>・・・上銘総務課長説明 資料3・・・</p>
岡村会長	<p>ただいま説明をいただきましたことについて、ご質問、ご意見はございませんか。</p>
	<p>なければ、総務課の追加事業については、以上で終わります。</p>
	<p>今回で各課からの事業説明は終わりますが、全体を通してご意見ございませんか。</p>
森谷委員	<p>丸森町とのふるさと子ども交流事業が端野からは各年実施となっており、丸森からは毎年来ていただいている。子どもの頃から交流を続けるのは非常に良いことであり、端野からも毎年実施すべきと思うので要望する。</p>
渡辺委員	<p>私も引率したことがあるが、子どもたちが端野から出て他の町を知るというのは非常に良い体験であると感じた。子どもたちがすごく成長する姿をみた。ぜひ毎年端野からも行くことができるように要望したい。</p>
松崎委員	<p>丸森町との姉妹都市のきっかけは豊実神楽であり、来年20周年で豊実神楽の会員全員で丸森町に行きたいと考えている。交流の輪が広がり充実することを要望する。</p>
岡村会長	<p>他にご意見ございませんか。なければ「自治区内事業の今後のあり方」については以上で終わりますが、概ね皆さんからご意見をいただきましたので、ご意見をもとに次回、答申素案をお示しし、さらに協議していきたいと考え</p>

	ておりますのでよろしくお願いいたします。
3. その他	
岡 村 会 長	<p>それでは次第3、「その他」に入らせていただきます。 委員のみなさんからその他として何かございますか。</p> <p>なければ事務局から何かございますか。</p>
事 務 局	<p>次回の協議会ではありますが、11月上旬を目途に開催したいと考えております。事務局からは以上です。</p>
岡 村 会 長	<p>以上を持ちまして、第6回端野まちづくり協議会を終了いたします。 最後に、山内副会長から挨拶をいただきます。</p>
山 内 副 会 長	<p>・・・山内副会長 挨拶・・・</p>
岡 村 会 長	<p>以上で終了いたします。</p> <p>--- 午後9時15分終了 ---</p>